






特に注意していただきたいこと

お客様に事故のないよう、施工上の注意事項をあげております。
施工前に、よくお読みのうえ正しく施工してください。
この説明書は、以下のように注意事項を区分して各々意味があります。

用語および記号の説明	
 警告 …… 守らないと、重傷を負うことがあります。	 …… 「してはいけません」 (一般的な禁止記号)
 注意 …… 守らないと、ケガをしたり、家財に損害を与えることがあります。	 …… 「指示通りにしなさい」 (一般的な行動指示記号)
	 …… 「風呂、シャワーなどの水場での使用禁止」

警告

浴室内の水のかかる場所や表面に水滴が生じるような湿気の多い場所では、暖房便座や温水洗浄便座、凍結防止ヒーター等の電気器具は設置しないでください。
火災や感電の原因となります。



注意

便器の汚水配管は、必ず便槽に接続してください。
便槽に接続する前提で建設大臣の認可を受けています。



電気配線は、必ず専門の電気工事店で行ってください。
資格がない人が電気工事をすることは法的に認められていません。



最後に、便器や水道配管からの漏水がないことを点検してください。
漏水すると、床が水浸しになり家財を濡らす原因となります。



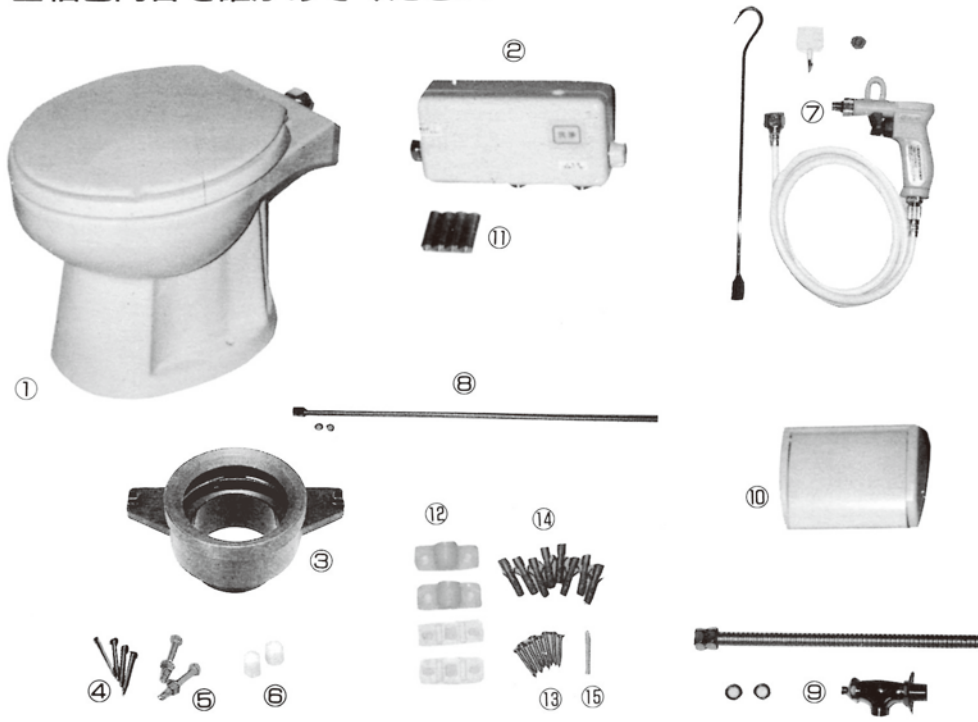
浴室内の水のかかる所や表面に水滴が生じるような湿気の多い場所では使用しないでください。
電磁バルブが故障したり、乾電池が液漏れする恐れがあります。



温水洗浄便座、暖房便座 を取り付ける場合は、各々の説明書をよくお読みください。

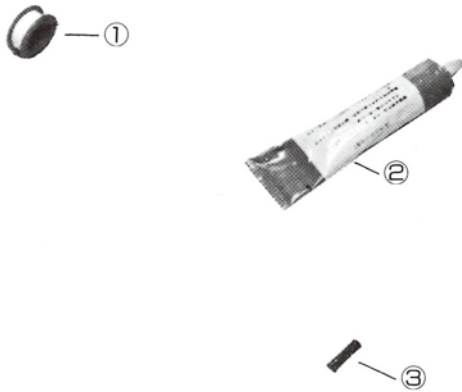
施工の前に

■梱包内容を確認してください



	品名	個数
①	便器本体	1
②	電磁バルブ	1
③	床フランジ	1
④	木ねじ5.8×63	4
⑤	スタッドボルト、ナット、座金	各2
⑥	化粧キャップ	2
⑦	洗浄ガン	1
⑧	フレキシブル管(800mm)	1
⑨	止水栓 (フレキシブル管300mm付)	1
⑩	ペーパーホルダー	1
⑪	単3アルカリ乾電池	4
⑫	サドルバンド	2
⑬	木ねじ4.5×30	8
⑭	カールプラグ8×40	8
⑮	水量調整ドライバー	1
⑯	施工説明書	1
⑰	取扱説明書・保証書	1

■別途に用意していただくもの



	品名	用途
①	シールテープ	水道管と止水栓の接続用
②	コーキング材 (シリコンシーラント)	床フランジと導入短管のコーキング用
③	カールプラグ#14	床がタイル又はコンクリートの場合に使用

■必要な工具

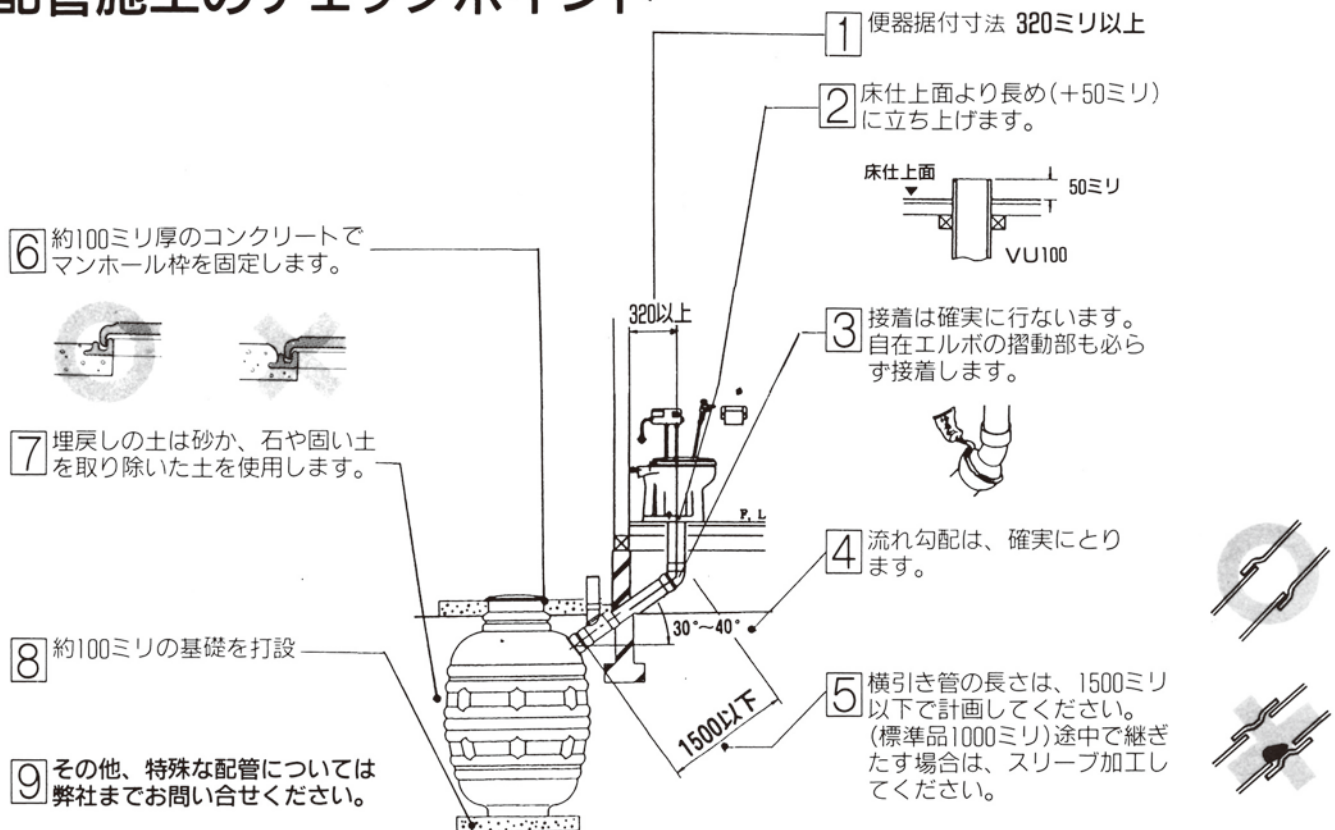
- ドライバー(+)
 - ノコギリ
 - パイプレンチ
 - 自在スパナ(モンキーレンチ)
 - スパナ(13)
 - コンクリート用ドリル(8ミリ)電気ドリル
- …………… 床フランジ取付木ねじ締め付け用、電磁バルブの取付用
 - …………… 塩ビ管切断用
 - …………… 止水栓と水道管の締め付け用
 - …………… 各部の袋ナット締め付け用
 - …………… スタッドボルト、ナット締め付け用
 - …………… カールプラグ#14、8×40を使用する場合

■配管上の注意事項

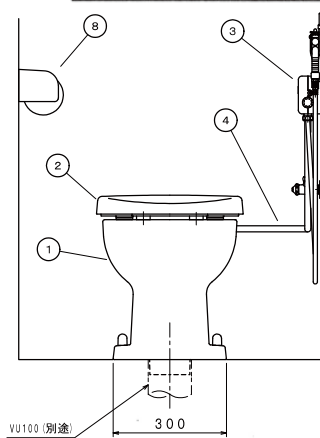
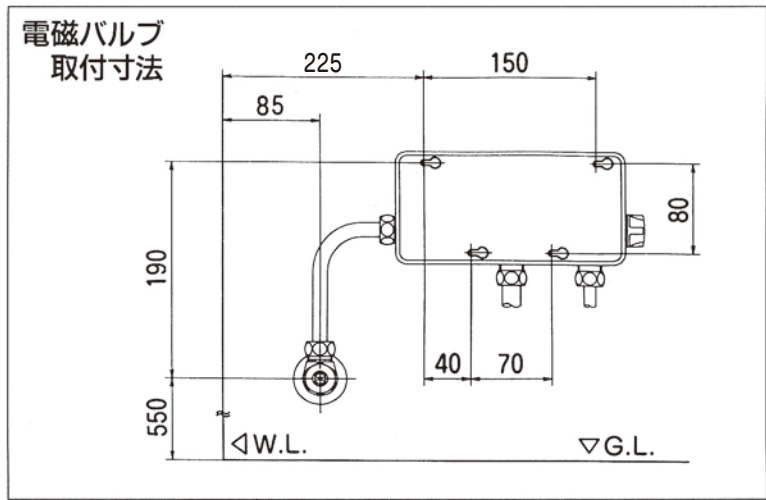
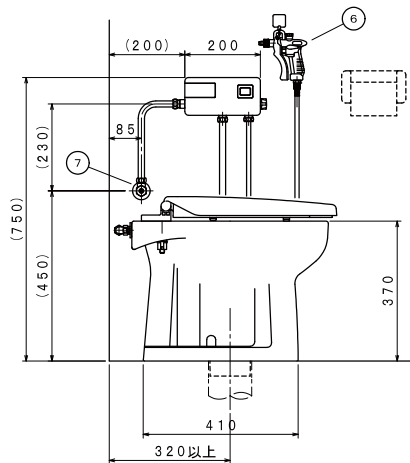
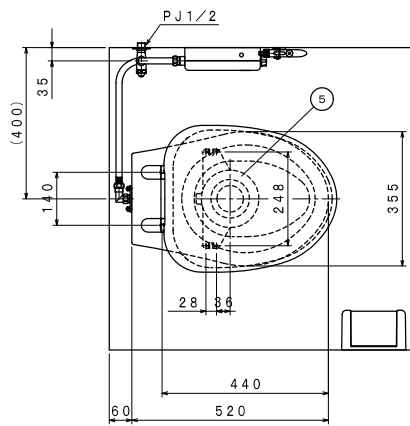


- 配管の外観、形状、材質は、JIS K6741に準じた硬質塩化ビニル管を使用してください。
肉厚：污水管(導入管)……… 2mm以上(ブロー成形品継手類1.6mm以上)
排気管(臭突管)………1.5mm以上(ブロー成形品継手類1.2mm以上)
- 污水管(導入管)
污水管(導入横引き管)
長さ：1.5m以内(標準は1m) 勾配：25°以上(標準は30~40°)
污水管(導入横引き管・導入立て管)
管径：呼び径100以上
污水管(導入管)に使用する継手は、汚物の流下に支障のない形状、構造を有するものを使用してください。
段差で汚物が引っかかるような継手は、使用しないでください。
横引き管途中には、絶対にエルボは使用しないでください。
配管の接合部は確実に接着し、十分な耐久性、水密性、気密性を確保してください。
- 排気管(臭突管)
次の場合は、必ず臭突を設置してください。
①污水管(導入立て管・導入短管)の長さが1.5m以上の場合(2階配管等)
②小便器を設置する場合
排気管の先端には、排気トップ(排気扇、ベンチレーター)等を設けてください。
排気扇は、風量70m³/h以下のもの(当社簡水臭突セット)を使用してください。
それ以上のものを使用すると、フラッパーが開き放しになります。
排気トップは、防臭機能に支障をきたさない性質のものを使用してください。
排気トップの下端は、建物の出入口、窓、換気口等の上端から600mm以上の高さに取り付けてください。
配管の接合部は確実に接着し、十分な耐久性と気密性を確保してください。
- 配管工事完了後、約10ℓの水を流して配管接合部からの漏水がないかを確認してください。
- 既存の無臭便槽に取り付ける場合は、別途改装用部品セットをお使いになると便利です。
- 水道配管
最低必要水圧：0.15MPa以上(13L/分以上流動時)
0.04~0.15MPa(13L/分以下流動時)は、便器の洗浄が悪くなります。特に家庭用ポンプを使用してポンプから便器まで距離が遠かったり、他の蛇口を開いたりした場合に流量が少なくなります。
そのときは、洗浄ガンを使用するようお客様にご説明をお願いします。
最高水圧：0.7MPa(静水圧)
水圧が0.7MPa以上では器具の破損や故障の原因となります。
流量の計り方
止水栓にフレキシブル管をつなぎ、10Lバケツで受けるようにします。
止水栓を全開にして30秒で水を出して止め、その水量を計り、その2倍が流量(L/分)になります。
水道配管内の砂やゴミは完全に除去してから電磁バルブに接続してください。
電磁バルブに砂やゴミが詰まると水が開放しになり故障の原因となります。
水道配管は、しっかり固定してください。ウォーターハンマーの原因となります。

■配管施工のチェックポイント



■寸法図



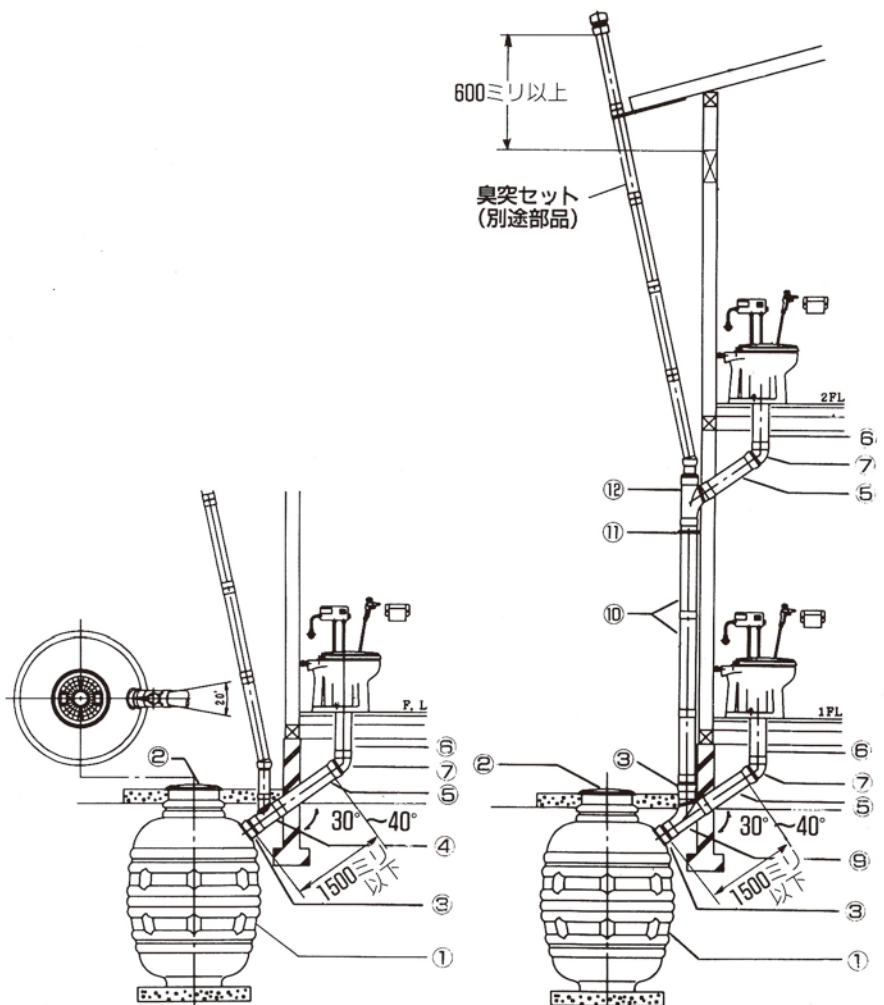
■標準施工図

■便槽の容量

1人1ヵ月で約100~150Qでご計画ください。
 但し、来客や家族数が増えることを考えて
 少し大きめのものをご使用ください。
 最低でも500Q以上の容量のものを、ご使用
 ください。

■部品仕様 フラッシュタンクNV型

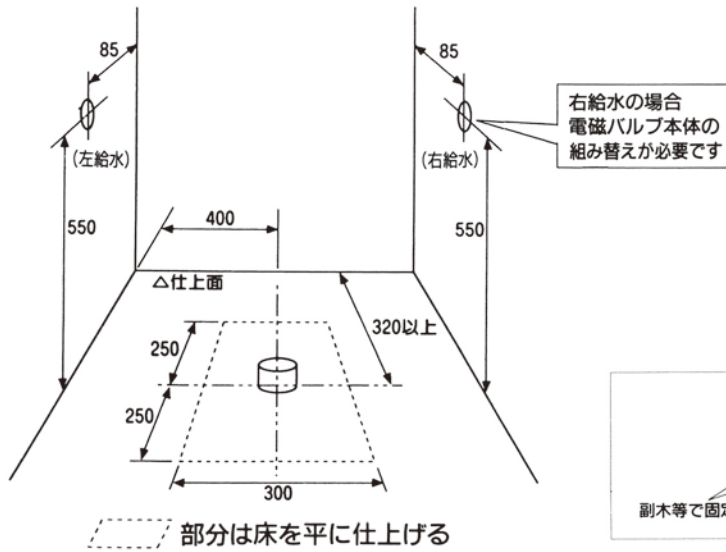
名称	部品数		備考
	1階用	1・2階用	
1 槽本体	1	1	
2 マンホール	1	1	φ 340
3 導入自在ソケット114	1	1(2)	φ 114 厚さ1.8
4 臭突チーズ	1	-	φ 114×80 厚さ1.8
5 導入管	1	2	VS110 L=800
6 導入短管	1	2	VU100 L=400
7 専用自在エルボ	1	2	φ 114 厚さ1.8
8 臭突接続パイプ	1	-	φ 80
9 導入チーズ	-	1	φ 114×80 厚さ1.8
10 導入管スリーブ付	-	3	
11 振止金具	-	1	
12 導入チーズF	-	1	



施工の手順

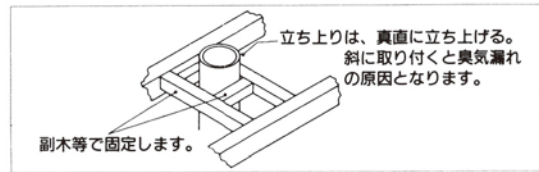
1 給排水管の位置決め

下図に従って、導入短管・給水管の位置を決めてください。



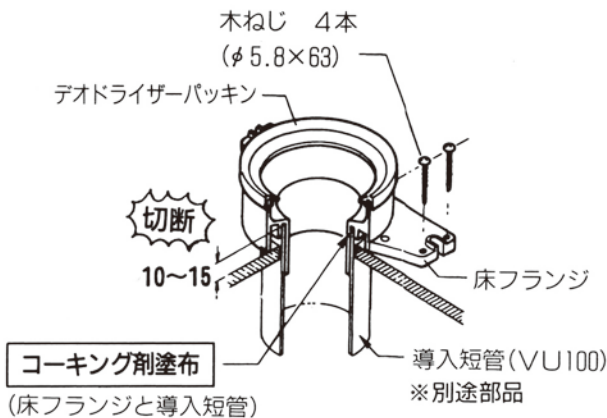
(注意)

- ・便器設置部の床面は、レベルを出して平らに仕上げてください。平らでないと便器のガタツキの原因となります。



2 床フランジの取付

床フランジの導入短管差込部にたっぷりコーキング剤を塗って床フランジを取り付けてください。



コンクリート床の場合



カールプラグ#14
(下穴8mm)

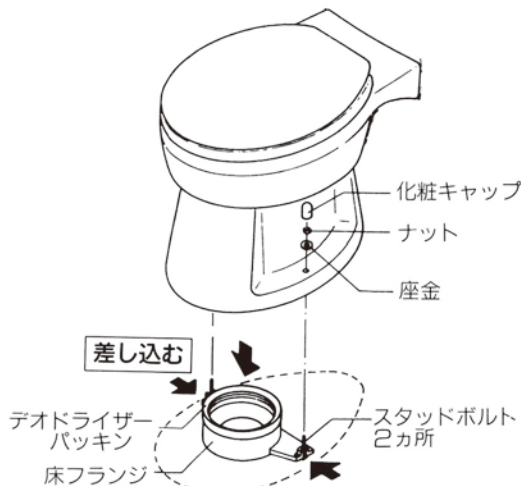
(注意)

- ・床フランジの取付向きにご注意ください。
- ・床フランジと導入短管の間は、確実にコーキングしてください。不十分ですと臭気漏れの原因となります。

3 便器本体の据付

スタッドボルトを床フランジに立て、ベース本体を床フランジの中に差し込みます。

便器が確実に据え付けられたことを確認してから座金を入れ、ナットを締め付け、化粧キャップをかぶせてください。



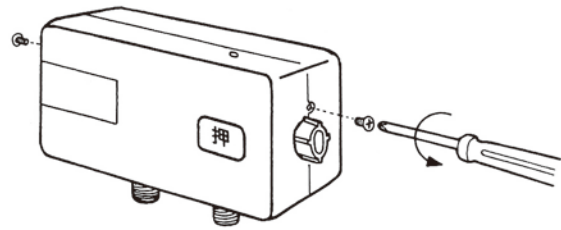
(注意)

- ・ベース本体を確実に床フランジに差し込んでください。臭気漏れや便器のガタツキの原因となります。
- ・ベース本体と床フランジを接着したり、便器をモルタル等で埋め込んだりしないでください。メンテナンスができなくなります。
- ・ナットを締め付けるとき、締め付け過ぎに注意してください。陶器が割れる恐れがあります。

4 電磁バルブの取付

電磁バルブを壁に取り付けて下さい。

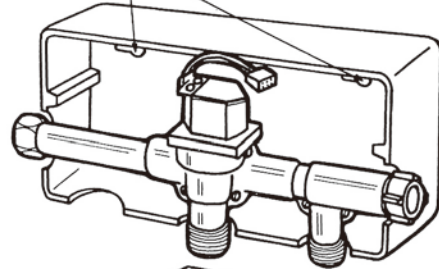
①+ドライバーで左右2本のねじを外して、カバーを開いてください。



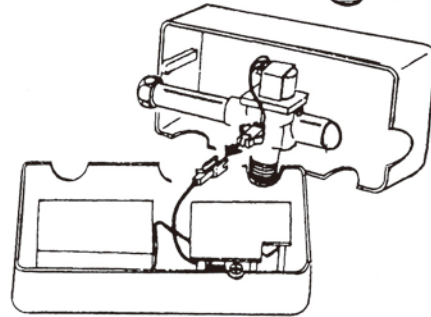
本体を矢印の方向にずらす。



②電磁バルブを壁に木ねじで取り付けてください。取り付ける位置に電磁バルブを付けてマジック等で木ねじの位置に印を付け、先に木ねじ4本を3分の2位ねじ込んでおきます。次に、電磁バルブの穴を木ねじに通して右にずらした後、木ねじを完全に締め付けてください。



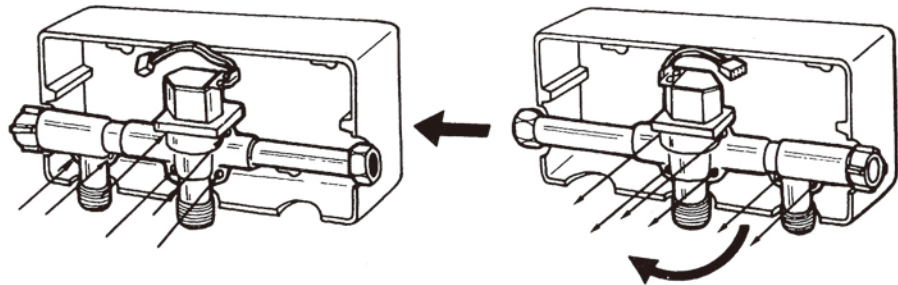
③基板と電磁弁の配線を接続して、カバーを取り付け左右2本のねじを付けてください。接続の際、差し込む方向がありますのでご注意ください。



右給水の場合

バルブ本体を固定している6本のねじを外し、バルブ本体を反転してねじを締め付けてください。

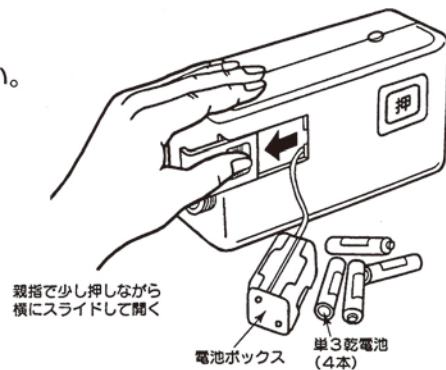
(注意)
タッピングねじのため、ねじが空転しないよう注意してください。



5 乾電池のセット

付属の単3アルカリ乾電池×4本を入れてください。

- ①電池フタを親指で少し押しながら横にスライドして開いてください。
- ②電池ボックスを手前に引き出してください。
- ③付属のアルカリ乾電池4本を電池ボックスに入れてください。

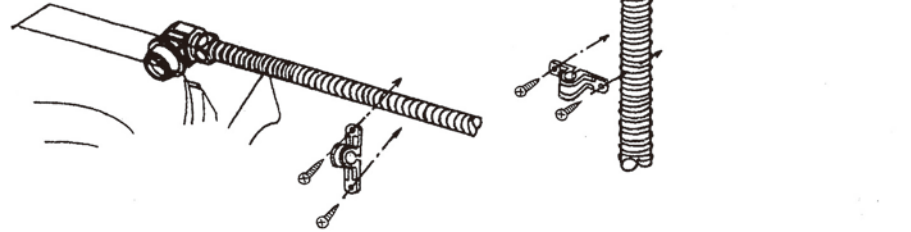


(注意)

- ・新しい乾電池と使用済乾電池や使いかけ乾電池、他の種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・乾電池の(+)(-)を確認して正しく入れてください。間違えて逆に入れると、乾電池が液漏れしたり、はれついたりする恐れがあります。
- また、便器への水が開放になることがあります。

6 フレキシブル管と洗浄ガンとの接続

- ①電磁バルブと便器をフレキシブル管(長さ800mm)で接続してください。
給水位置等の関係でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さに合った市販のものをご使用ください。
- ②フレキシブル管の振れ防止にサドルバンド2ヶを取り付けてください。
- ③電磁バルブに洗浄ガンを取り付けてください。
その時、必ずストレーナーを入れてください。

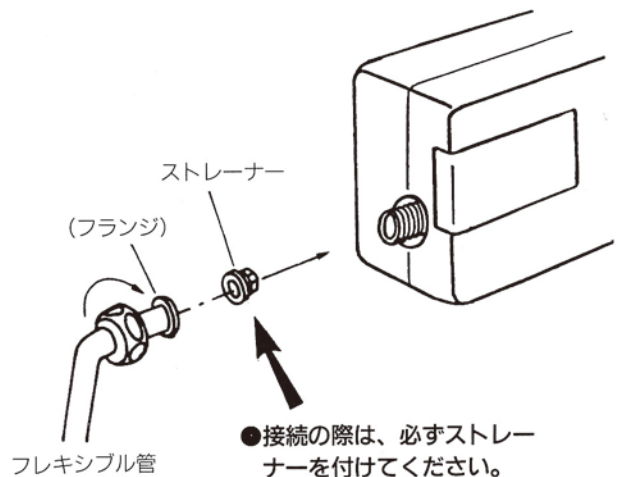


7 止水栓とフレキシブル管の接続

- ①止水栓にシールテープを巻いて水道配管の給水口に取り付けてください。
- ②止水栓と電磁バルブをフレキシブル管(300mm)で接続してください。
給水位置等の関係でフレキシブル管の長さが合わない場合は、長さに合った市販のものをご使用ください。

(注意)

電磁バルブとフレキシブル管の間に必ずストレーナーを入れてください。



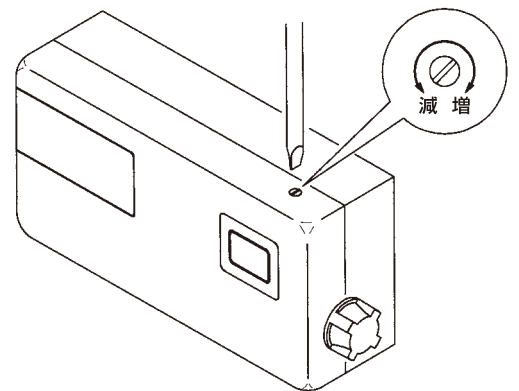
8 水量の調節

電磁バルブの水量は200cc/回にしていますが、設置場所の水道圧で洗浄水量が変わりますので、水量の多いときや少ないときは調節してください。

時計回り : 増
反時計回り : 減

[注意]

ドライバーで強く押ししたり、回し過ぎると調節ねじが破損しますので、軽く回してください。



9 点検

取付完了後、次の点検を行って下さい。

●電磁バルブの押しボタンを押して

- ①フラッパーの開閉状態
- ②便器への洗浄水の流れ状態
- ③各部の漏水の有無

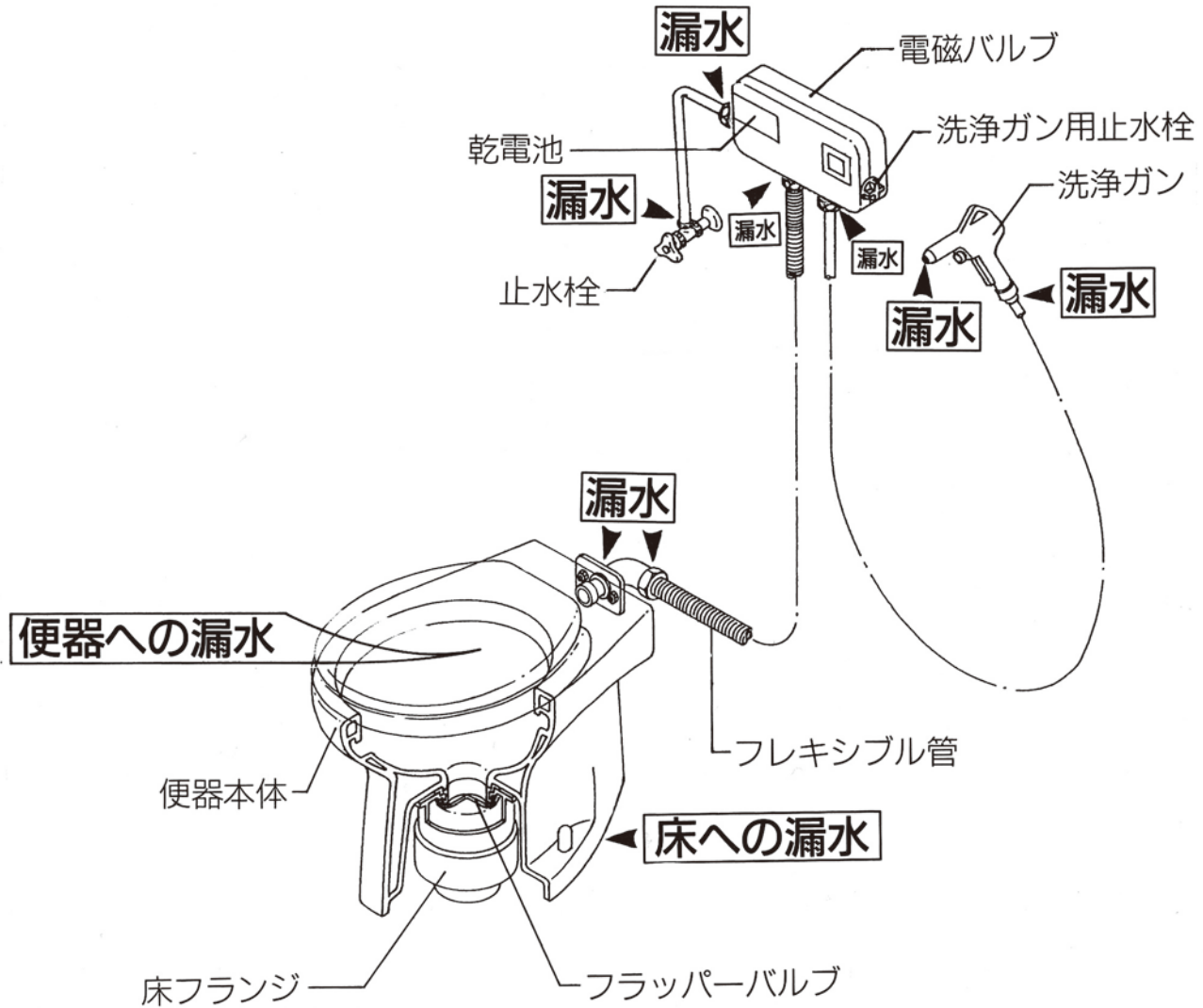
●洗浄ガン用止水栓を開き、洗浄ガンのボタンを押して

- ①洗浄ガンの水の出方
- ②各部の漏水の有無

※点検後、洗浄ガン用止水栓を必ず閉めてください。

●ウォーターハンマーが発生する場合はいずれかの処置を行ってください。

- ①水道配管の固定箇所を増してしっかり固定する。
- ②便器に洗浄に影響のない程度に止水栓を絞る。
- ③ウォーターハンマー防止器を取り付ける。



工事完了後

取扱説明書と保証書を必ずお客様にお渡しください。

保証書は必要事項を記入してお渡しください。



Daiwa Kasei

ダイワ化成株式会社

本社営業部 福岡市中央区白金 1-13-1
TEL 092 (521) 1800